

有田史談会

月例通信

史談会ホームページ



ようやく秋の気配が



夏の暑さも徐々に遠のき、9月下旬頃から秋へ向けて空気感がいっきに変わり過ごし易くなりました。

早朝ウォーキングでは虫の音を聞きながら散歩を楽しんでいますが、皆様の日常はいかがお過ごしでしょうか？季節の変わり目で特に高齢者ばかりの史談会としては、体調の変化には油断せず充分に配慮が必要です。また、7月以降コロナの感染者が全国的に増加傾向で、佐賀県は平均値を上回っています。最新の情報に注意するとともに感染防止にも心掛けましょう。😊😊😊

九州陶磁文化館

[開館45周年記念 特別企画展]

初期伊万里ビッグバン

-日本磁器始まりの全貌-

先月ご紹介した九州陶磁文化館40周年特別企画展の記念講演「肥前磁器始まりの全貌」講師大橋先生が開催されます。都合のつく方は是非ご参加下さい。

記念講演 10月5日(日) 14:00~15:30

なお、事前申込不要ですが、定員200名です。各自早めに来館の上入場をお願いします。

九州陶磁文化館の特別企画展で 有田町所蔵の出土陶片が展示されます

この特別展には、日本磁器を完成させた窯場の可能性が高い小溝上窯跡や、有田の産業的磁器生産の基盤を築いた天狗谷窯跡をはじめ、有田町が所蔵する初期伊万里の陶片の数々も展示される予定です。ぜひ会場に足を運び、日本磁器の全貌に触れることで、初期伊万里のビッグバンを感じてみてはいかがでしょうか。

11月は企画展の鑑賞を計画しています

団体での申し込みをしています。学芸員より提案があり、11月15日(土)13:30~15:00のやきものセミナーに合流したいと思います。一般の方々が参加されますのが学芸員の都合に合わせました。ご承知おき下さい。

世界文化遺産

三重津海軍所跡

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1



寛永19年(1642)に幕府より長崎警護を命じられ、福岡藩と隔年で警護をしていた佐賀藩は、天保11年(1840)清国と英國間に起こったアヘン戦争での歐米列強の軍事力に脅威を募らせ、長崎警護の強化を決意します。1855年オランダの協力を得て、幕府は長崎に海軍伝習所を設立し、佐賀藩は第1期伝習生として佐野常民を筆頭に48名を派遣、最新の西洋式航海術、造船術、砲術を学びます。

安政5年(1858)長崎海軍伝習所で習得した知識や技術を藩内に広めるため、藩船の管理地(船屋)の三重津に御船手稽古所を設置し、のちに幕末佐賀藩の洋式海軍の拠点としての三重津海軍所が創設され、慶応元年(1865)に国内で初めての実用蒸気船

「凌風丸」が造られました。平成25年には国史跡に指定され、平成27年には「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船・石炭産業」の構成資産として世界遺産に登録されています。この施設は「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」として佐賀市川副町早津江津に開設され、幕末から明治期にかけて活躍した佐野常民の生い立ちや功績とともに紹介されています。

